



ラーニング・アドバイザーがおすすめる…

# モビリティ・マネジメント

モビリティ・マネジメントとは、過度な自動車依存を見直し、公共交通・自転車・徒歩などを『かしこく』使うライフスタイルへの転換を促す取り組みです。環境負荷の低減や地域活性化にもつながる交通政策を学ぶ第一歩として、本パスファインダーではモビリティ・マネジメントの基本と資料を紹介します。

関連キーワード：交通政策, 自家用車依存, 行動変容, 持続可能な社会

**—健康的でエコな公共交通機関を利用しましょう—**

発行：2025.03

和歌山大学図書館

作成：ラーニング・アドバイザー  
(経済学研究科)

# 1. はじめに/イントロダクション

★近年、都市や地域の交通問題に対応するために「モビリティ・マネジメント」という考え方が注目されています。これはハード面の整備よりも、人々の意識や行動に働きかけるソフト施策を重視した交通戦略です。本パスファインダーでは、モビリティ・マネジメントの基礎から応用、関連政策に関する学習を深めるための資料を紹介します。

## 1-1. 「モビリティ・マネジメント」の基礎知識

★モビリティ・マネジメントとは、移動に関する人々の行動や意識に働きかけ、自家用車に過度に依存したライフスタイルを見直し、公共交通、自転車、徒歩といった持続可能な交通手段を“かしこく使い分ける”行動への転換を促す施策です。

従来の交通施策が施設整備や規制を通じて行動を「誘導」するのに対し、モビリティ・マネジメントは人の気付きや納得を促して移動の選択肢を広げる点に特徴があります。

特徴として以下の3点が挙げられます。

- ・ **自発的な行動変容の支援**：強制ではなく、納得をベースに移動行動を見直してもらう。
- ・ **コミュニケーションの重視**：対話・情報提供・参加型の手法を用いる。
- ・ **地域の状況に応じたカスタマイズ**：都市部・郊外・地方など、地域の状況に応じた施策。

これにより、交通渋滞やCO<sub>2</sub>排出の削減、健康増進、地域の活性化など多方面での社会的メリットが期待されています。

## 1-2. 「モビリティ・マネジメント」の具体的内容

★モビリティ・マネジメントは、「自発的な行動変容」を導くため、コミュニケーションの対象に応じて、下記のように3つの区分に分けられます。

### ・居住者モビリティ・マネジメント

地域住民を対象に、移動に関する選択肢（例：バスの時刻・ルート、料金の情報など）を伝え、生活の中で“自分に合った移動手段”を再発見してもらう取り組みです。

例：バス乗車体験イベント、ポスティングによる交通情報の配布、対話型アンケートの実施

### ・職場モビリティ・マネジメント

企業や事業所を対象に、職員個人の通勤行動を見直す「個人的プログラム」と、企業全体

の通勤制度を改善する「組織的プログラム」に分かれます。

例：通勤交通費の見直し、シャトルバス導入、テレワーク推進、職員向け通勤アドバイス

#### ・学校教育モビリティ・マネジメント

生徒・児童を対象に、持続可能な交通手段に関する教育や、安全な通学について考える機会を提供します。

例：通学路マップづくり、徒歩・自転車の交通安全教育、保護者向けの説明会

## 1-3. 最初に読むべき資料

---

### ◆ モビリティをマネジメントする / 藤井聡, 谷口綾子, 松村暢彦著, 学芸出版社, 2015

(配架場所：2F 開架図書 681.8||HS 書誌 ID：1000428316)

★クルマ依存の生活を見直し、持続可能な交通を実現するための方策が豊富に紹介されています。

## 2. より深く学習したい方向けに

### 2-1. 一般向けに書かれた資料・読み物

---

### ◆ モビリティ・マネジメント入門 / 藤井聡, 谷口綾子著, 学芸出版社, 2008

(配架場所：2F 開架図書 681.8||HS 書誌 ID：1000339933)

★ モビリティ・マネジメントの基本理念と実践事例を通じて、交通問題に対する新しいアプローチを学べる一冊です。

### ◆ 地方都市圏の交通とまちづくり：持続可能な社会をめざして / 辻本勝久著, 学芸出版社, 2009

(配架場所：2F 開架図書 681.8||TK 書誌 ID：1000389704)

★ 地方都市における交通政策について、理論・実務の両輪から学べる一冊です。モビリティ・マネジメント関しても学ぶことができます

◆ **MaaS が都市を変える 移動×都市 DX の最前線 / 牧村和彦著, 学芸出版社, 2021**

(配架場所 : 2F 開架図書 681.8||MK 書誌 ID : 1000471419)

★ MaaS よって、どのように都市や暮らしが変化するのかを考察した一冊です。都市 DX や政策の視点からの学びを深めたい方におすすめです。

## 2-2. 事典・ハンドブック類

---

◆ **モビリティ・マネジメントの手引き: 自動車と公共交通の「かしこい」使い方を考えるための交通施策 / 日本モビリティ・マネジメント会議編, 土木学会, 2005**

(配架場所 : 2F 開架図書 681.8||Do 書誌 ID : 1000309069)

★モビリティ・マネジメントの実務に役立つガイドブックで、政策立案・現場対応の参考になります。

## 2-3. 最新情報が確認できる資料 : Web ページ

---

◆ **日本モビリティ・マネジメント会議 / 一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議事務局**

( <https://www.jcomm.or.jp/> )

★モビリティ・マネジメントに関する資料や最新情報が掲載された公式サイトです。

## 3. まとめ

★ モビリティ・マネジメントは、「行動変容」に注目した交通施策です。交通は、環境・健康・地域経済など、幅広い課題と関わっており、学ぶことで持続可能な社会づくりへの理解が深まります。日々の通学手段や移動行動を振り返り、どのような交通のあり方が望ましいのかを考えるきっかけにしてほしいと思います。まずは入門書から手に取り、自らの生活と結び付けて考えてみましょう。

★本文中で紹介されている図書の探し方★

和歌山大学図書館トップページの OPAC 検索窓に、  
10 桁の書誌 ID を入力して検索してください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/> 和歌山大学図書館



## 付録：交通手段を考えるワークシート

★このワークシートは、ふだんの移動を見直し、よりよい移動のしかたを考えるきっかけとして作成いたしました。公共交通や自転車、徒歩といった自家用車以外の選択肢にも目を向けることで、環境や健康、地域との関わりについても気づくことがあるかもしれません。まずは、身近な行動から少しだけ変えてみることを目指して、気軽に取り組んでみてください。

### ★ 自家用車(家族による送迎含む)をどれくらい利用していますか？

毎日    週に2、3回    週に1回    月に1、2回    ほとんど利用しない

### ★ 公共交通機関(バスや鉄道)をどれくらい利用していますか？

毎日    週に2、3回    週に1回    月に1、2回    ほとんど利用しない

### ★ 目標を書いてみましょう

過度な自動車依存を見直し、公共交通・自転車・徒歩などを『かしこく』使う  
ライフスタイルへの転換するために、何ができるでしょうか。

例：週に1回はバスに乗る／徒歩で買い物に行く など

目標： \_\_\_\_\_

### ▶ あなたの移動をふり返ってみよう

| 項目       | 行動【例】 | 現在の行動 | 別の選択肢を考えると？ |
|----------|-------|-------|-------------|
| 通学手段(往復) | 電車+徒歩 |       |             |
| バイトへ行く   | バス    |       |             |
| 買い物へ行く   | 自転車   |       |             |
| 実家への帰省   | 家族の車  |       |             |

▶ 行動を変えると、どんなことがあるでしょうか

| メリット（良さそうなこと） | デメリット（気になること） |
|---------------|---------------|
|               |               |

▶ やってみたい“ちいさな行動変容”

- 車を使わずに徒歩や自転車で移動する日を決める
- バスや電車の情報を調べてみる
- 自転車を試してみる日を決める
- 徒歩で行ける場所に行ってみる
- （自由記入） \_\_\_\_\_

▶ 実際にやってみたらチェックしてみよう（振り返り）

- 週に1回は自家用車を使わず通学できた
- バスや電車の情報を調べてみた
- アプリでバスの時間を調べた
- 新しい移動手段を試してみた
- 家族や友達に交通手段について話してみた

▶ 気づいたこと・感想

（自由に書いてみましょう）

|  |
|--|
|  |
|--|